



平成 28 年 4 月 27 日

各 位

会 社 名 株式会社日立ハイテクノロジーズ
代 表 者 名 執行役社長 宮崎 正啓
(コード番号：8036、東証第一部)
問 い 合 せ 先 CSR・コーポレートコミュニケーション部長
西村 健 (電話：03-3504-3258)

「中期経営戦略」策定のお知らせ

株式会社日立ハイテクノロジーズ（執行役社長：宮崎 正啓／以下、日立ハイテク）は、2016 年度から 2018 年度までの「中期経営戦略」を策定しましたのでお知らせします。概要は以下のとおりです。

1. 中期経営戦略の位置づけ

日立ハイテクは、「ハイテク・ソリューション事業におけるグローバルトップをめざします」という企業ビジョンを掲げ、「お客様が最先端・最前線の事業創造企業になっていただくために最大限の貢献をする」ことをミッションとして事業を推進しています。また「長期経営戦略」にもとづき、「バイオ・ヘルスケア」「社会・産業インフラ」「先端産業システム」の 3 事業ドメインにおける取り組み方針を定め、成長分野へのリソースシフトによる事業ポートフォリオの強化を進めてきました。

この度、日立ハイテクは、事業ポートフォリオ戦略にもとづく具体的な戦略および施策を展開し、2020 年に向けたさらなる成長の加速を実現するため、2016 年度から 2018 年度までの「中期経営戦略」を策定しました。

2. 中期経営戦略の内容

(1) 基本方針

基本方針として次の 2 点を掲げ、「Challenge to Change（変革への挑戦）」を図っていきます。

① 「さらなるお客様志向への変革」

個別化されたお客様のニーズにきめ細かく応え、高度な専門性をもってソリューションを提供します

② 「自律分散型組織への変革」

全体最適の視点をもって現場の社員が自ら考え、判断し、行動する意識改革を推進します

(2) 中期経営方針

「主力事業で継続的に収益を確保しつつ、次世代につながるリソース増強・投資を推進」

日立ハイテクは、2015 年度まで、東日本大震災で被災した建屋の整備や不採算事業の構造改革に対しリソースを投入してきました。しかし 2016 年度以降の中期経営戦略では、2018 年度までの 3 年間を 2020 年に向けた成長サイクルを形成する重要な時期と位置づけ、主力事業で継続的に収益を確保しながら次世代につながるリソース増強・投資を推進することを方針とし、研究開発等の積極的な戦略投資を行っていきます。

なお、中期経営戦略の実行にあたり、従来のセグメントごとのマネジメントを、ビジネスモデルの違いを勘案して「Instruments」と「Materials」に区分し、各々について提供する価値およびターゲットを設定し事業を推進していきます。

【「Instruments」と「Materials」に区分したマネジメント】

[現状]

セグメントごとにマネジメント

電子デバイスシステム
ファインテックシステム
科学・医用システム
産業・ITシステム
先端産業部材

[中期経営戦略]

Instruments と Materials に区分したマネジメント

Instruments	科学・医用システム
	電子デバイスシステム
	産業システム*
Materials	先端産業部材



※2016年度より「産業・ITシステム」と「ファインテックシステム」を統合し「産業システム」として運営

- Instruments: 強いプロダクト・商物品、アプリケーション・サービスを組み合わせたソリューションを提供
- Materials: 既存事業のさらなる強化を図るとともに製造業向け商事サービスを提供

(3) 中期経営戦略のターゲット

中期経営戦略では、事業目標、投資戦略、株主還元においてターゲットを設定し、成長戦略実現に向けて取り組んでいきます。

① 事業目標

売上収益： 事業ごとに市場の伸びを上回る成長をめざす

収益性： 「Instruments」ではEBIT*1 マージン率10%以上、
(2018年度) 「Materials」ではEBIT絶対額50億円以上をめざす

サービス比率： EBITに占めるサービス事業*2の割合を50%以上とし維持する

*1 EBIT (Earnings Before Interest and Taxes)： 税引前利益から受取利息および支払利息を除外した数値

*2 サービス事業： 製品保守サービス、ITソリューション、商事サービス等

② 投資戦略 (2016～2018年度累計)

研究開発： バイオ・メディカル事業を中心に増額し、800億円規模の投資を実行する
(2013～2015年度比30%増)

設備投資： 事業を支える製造能力の拡充と生産技術力の強化およびデモ設備等の拡張による顧客とのコラボレーションの深化を目的に400億円規模の投資を実行する

事業投資： バイオ・ヘルスケア、社会・産業インフラを中心に300億円規模の投資を実行する。また手持ち資金を活用しさらなる事業投資を推進する

③ 株主還元

配当性向30%をめざし、安定配当を維持する

日立ハイテクは、“変える勇気・変わる勇気”を持って中期経営戦略を実行し、2020年に向けたさらなる成長の加速を実現していきます。

以上